

2026年

10月発行

ほ っ と 通 信

発行：釧路市中部北地域包括支援センター

第199号

釧路市文苑4丁目65番2号ふみどの東陽ビル TEL36-1233

令和8年度 第1回 介護支援専門員連絡会議を開催しました

令和8年7月29日(水)14時よりコアかがやき2階学習室にて、介護支援専門員連絡会議を開催しました。中部北地域包括支援センターの井口社会福祉士が講師となり『高齢者虐待の予防・対応について』の講義と、グループワークを行いました。

中部北地区の居宅介護支援事業所のケアマネジャー23名が参加され、5グループに分かれてのグループワークでは、興味深い話が多く時間が足りなかった、との意見もありました。包括支援センターでは、今後も虐待の研修を行う予定です。虐待かどうかわからない場合も含め、心配なケースや支援困難なケースがあれば、包括支援センターに相談頂ければと思います。

11月の介護支援専門員連絡会議は、事例検討を予定しています。次回も多数のケアマネジャーさんのご参加をお待ちしています。
(主任介護支援専門員：高島)



巡回相談のご案内

中部北地域包括支援センターは、高齢者の方の多岐にわたる相談に対応させて頂いております。下記の日程で巡回相談を実施します。当日は主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師が出向き相談に対応致します。血圧測定・足指力測定も実施しておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

日時：令和8年10月15日(木)

10時00分～11時30分

場所：こめしん芦野店(芦野1丁目7番7号)



認知症サポーター養成講座・スキルアップ講座の報告

令和8年7月21日（火）認知症サポーター養成講座（講師 当センター：伊藤社会福祉士）、8月11日（祝）スキルアップ講座（講師 小規模多機能ふみその・グループホームふみその：畠山智彦所長）を開催しました。認知症サポーター養成講座では、釧路市SOSネットワークの説明もさせて頂いています。認知症の方が道に迷って、途中誰にも気づいてもらえず痛ましい事故にあう可能性もあります。ご本人はSOS信号を表に出せなくて、困って、心細くて、どうしてよいのかわからず必死に歩いているのではないかと思います。認知症の人が一人で外に出るから悪いのではなく、認知症があっても外出し安心して帰ってこられるよう、地域の皆さんに、認知症に関する知識や理解を広められるよう、地域包括支援センターも様々な所で認知症サポーター養成講座を行っています。受講のご希望がある方（または団体、企業）は、地域包括支援センターにお声かけ下さい。

（認知症地域支援推進員：盛）



第11回 釧路市認知症講習会のご案内

ほっとけない!! 認知症 ～認知症を正しく知ろう～

第1部

認知症による長期行方不明者の家族が抱える葛藤
講師：NPO法人いしだたみ・認知症行方不明家族等の支え合いの会代表理事 江頭愛子氏

第2部

早く相談するほど未来は変わる
～MC Iを知ろう～

講師：くしろ脳神経クリニック院長 鈴木健吾氏

第3部

釧路市の認知症の取り組み

日時：10月24日（土）

13:00～15:00（開場 12:30）

会場：釧路市生涯学習センター【まなぼっと幣舞】
多目的ホール（2階）

対象：釧路市民

定員：150名 入場無料、申し込み不要

主催：釧路市、釧路市内7地域包括支援センター、エーザイ

問い合わせ：釧路市福祉部介護高齢課 23-5185

講師



NPO法人いしだたみ
認知症行方不明者家族等の
支え合いの会
代表理事 江頭 愛子氏

2023年に認知症の実父が行方不明となり現在も未発見。当時、公的・民間の支援がなく孤立した苦しみから、長期行方不明者家族に寄り添いたいという強い思いで2024年8月23日にNPO法人を設立。

長崎市を拠点に全国の自治体との連携を深めるほか、当事者家族へのピアサポート活動、家族が直面する「制度的な問題」の解決に向けた取り組みを推進している。

◎令和7年度～認知症介護研究
研修東京センター 研究事業
アドバイザー委員会 委員就任
◎令和8年7月：認知症フォーラム主催



くしろ脳神経クリニック
院長 鈴木 健吾氏

医学博士
・日本脳神経外科学会 専門医
・日本脳卒中学会 専門医
・日本認知症学会 専門医

釧路みはらマルシェが開催されます！

今年で3年目を迎える本イベントは、地元の“おいしい・たのしい・つながり”が一つに集まる一日を通して、地域の魅力を改めて感じていただき、世代や地域を超えた交流を育みながら、みんなで未来へつないでいくマルシェを目指しております。

地域の皆さまの笑顔と出会いが広がる「釧路みはらマルシェ」。釧路・道東の新鮮な野菜や果物、こだわりの加工品、手作り雑貨など、多彩なお店が参加します。美味しいグルメやスイーツ、ドリンクも充実しています。その他、じゃんけん大会やミニゲームなど、子どもから大人まで楽しめるイベントも予定しています！

今年も天候に恵まれ素敵なイベントになる事を願っております！



【日時】10月3日（土）10時～13時

入場無料 ※雨天中止

【場所】釧路市美原4丁目（旧美原ショッピングセンター駐車場）

【主催】特定非営利活動法人 まなざしの和（問合せ：島貫様 080-1898-5257）

文苑福寿会（老人クラブ）におじゃましました

令和8年8月21日（金）午前11時、「文苑福寿会」にて、マルベリーさわやかセンターの鮎澤センター長と本間相談員に「福祉用具貸与」「住宅改修」「特定福祉用具購入」についての講話をしていただきました。また、実際に手すりや歩行器、車いす等、さまざまな福祉用具をお持ちいただきました。参加された10名の皆様には、実際に福祉用具に触れ、使い方を体験していただき、福祉用具の導入や住宅改修による手すりの設置が、在宅生活をより安全で安心なものにすることを理解していただく貴重な機会となりました。お忙しい中、多くの福祉用具をご持参いただき、実物を用いた分かりやすく貴重な講話を行ってくださったマルベリーさわやかセンターのお二人に、心より感謝申し上げます。

（センター長：佐々木）



皆で防ごう高齢者虐待！

厚生労働省は、令和6年度の高齢者に対する虐待の対応状況に関する調査結果を発表しました。家族によるものは0.2%増の17,133件でした。家族から虐待を受けた人の64.1%は身体的虐待を受けていました。次いで心理的虐待が37.2%、介護等放棄が19.7%、経済的虐待が16.4%でした。被害者の76.0%が女性であり、加害者の続柄は息子(38.9%)が最も多く、夫(23.0%)、娘(19.3%)の順でした。虐待の発生要因としては、虐待をした人の「介護疲れ・介護ストレス」も57.2%と多くを占めていました(複数回答)介護疲れ・介護ストレスは軽減させることが可能です。介護者が介護を抱え込み、頑張りすぎていないか周囲の方々も気にかけていただければと思います。

地域での虐待の兆候やサインをつかみましょう



- 怒鳴り声、悲鳴、物が投げられる音がする
- 電気メーターが止まっている、水道・ガスなどが止められている
- 天気が悪くても、外にいる姿がしばしばみられる
- 家族と同居しているのにコンビニなど頻繁に弁当を買っている
- 最近、姿をみかけない
- 住居や庭の手入れがされていない
- 近所付き合いをしたがらない、訪問しても嫌がる、拒否する

～虐待を発見した場合は、通報義務があります～

高齢者虐待は当事者に自覚がなかったり、虐待を受けている高齢者が家族などに遠慮したりすることなどから、周囲には見えにくいものです。身近で虐待(疑わしい?)と感じたり気づいたときには、釧路市介護高齢課又は各地域の包括支援センターまで速やかに連絡してください。虐待を受けている本人が通報することもできます。

なお、通報者等を特定する情報を漏らすことはありません。(社会福祉士：井口)



こんな時は地域包括支援センターへご相談下さい。

- 介護保険について知りたい、介護の保険の申請がしたい。
- 介護が大変で仕事が手につかない。
- 近所のおばあちゃんが、最近ふとんをたくさん買わされているようだ。
- 近所のおじいちゃんがよく迷子になっているようだ。
- この頃、おばあちゃんの物忘れが増えて困っている。



相談はすべて無料です！！

地域包括支援センターは釧路市から委託されている公的な相談機関です。市役所に代わって身近な所で相談できます



地域包括支援センターはあなたの街の相談所です。

〒085-0063

釧路市文苑4丁目65番2号(ふみその東陽ビル1階)

開設日／月曜～金曜(祝日・市の年末年始の休日を除く)

開設時間／午前9:00～午後5:00 ☎ 0154-36-1233